

友和地区自治会等連絡協議会だより

第1号 発行日：令和7年6月

発行者：友和地区自治会等連絡協議会

5月18日に定例総会を開催しました！

5月18日（日）に友和市民センターにて、定例総会を行い、以下の承認をいただきました。これをもとに運営を進めてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■会の運営にあたっての基本的な考え方（5つの柱）

▶「安全・安心で明るく持続性のある地域づくり」を目指す

友和地区自治会等連絡協議会（以下「会」）は、単位自治会・関連団体・市などと連携を深めながら、各種事業を進めていきます。

▶単位自治会・町内会・関連団体の主体的な取り組みを期待

地域の特性や歴史をふまえつつ、将来像を描いた取り組みを展開します。特に「負担の軽減」や「ゆるやかな繋がり」を意識し、団体間の横断的な活動にも期待します。

▶人口急減が予測される将来に向けての研究・活動に重点

組織間に上下関係はないとの立場を明確にし、単位自治会・町内会・関連団体の自主的活動を支援。人口減少を見据えた研究や取り組みも重視します。

▶予算の配分・執行にあたっては真に意味のある使い方に留意

予算の配分・執行に際しては、透明性と公平性を重視。余剰金が生じた場合の公金との関係にも配慮し、適切に処理します。

▶不断の見直しと広報活動

運営の改善・評価を常に行い、会員への広報活動にも力を入れます。

■令和7年度 予算配分の概要

▶会に加入している単位自治会・町内会への配分

前年と同様、1世帯あたり1,000円を配分します。

▶関連団体活動費・小学校への直接支援（お金）

昨年度と同水準の配分を継続します。

▶友和小学校150周年支援

新役員より就任あたり

会長：名越 信貴（峠）

まず初めに、これまで「友和地区コミュニティ協議会」を支えてこられた諸先輩方のご尽力に、心より感謝申し上げます。私のような若輩者が「役」を務めさせていただくこと、身の引き締まる思いを感じております。

私は幼い頃から峠に暮らし、現在は広島市内に勤めに出ております。農業にも携わっており、米作りなども行っています。週末には、息子の野球の応援にも精を出しております。

さて、この春、山口県で開かれた「コミュニティ」に関する研修会に参加する機会をいただきました。そこで特に心に残ったのが、「恩送り」という言葉です。「恩送り」とは、「自分が誰かから受けた恩や親切を、直接その相手に返すのではなく、別の誰かに送っていく」という考え方です。

私自身、そして家族も、これまでこの地域で多くの「恩」をいただきました。今度は、私たちがその「恩」を次の誰かに送る番だと感じております。

微力ではありますが、皆さまのお力を借りしながら、協議会の円滑な運営と、友和地区のさらなる発展のために尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

副会長：吉川 仁（河津原）

このたび副会長に就任いたしました吉川（きっかわ）と申します。河津原出身で、昭和50年から友和保育園に、昭和53年春友和小学校に通っておりました。

長い月日が過ぎ、令和6年11月、河津原の実家である正念寺という寺院の一角に住居を用意し、夫婦で暮らし始めました。寺の継代を円滑に進めるための転居で、今後当地域から離れることはなかろうと思います。名越会長など以前親交のあった懐かしい方々、そしてこれから知り合うことになる皆様と、この地域の持続的な安心・安全に関わる機会を与えられ、有り難く思っています。

なお、現時点での平日の勤務先は吉和地域です。吉和地域の方々からも、地域を大切にする気持ちを強く感じます。見做ってがんばろうと思います。

なお、私には3歳年上の兄と、3歳年下の妹がいますが、おかげさまで二人とも元気に県外で暮らしています。どうかよろしくお願ひいたします。

「情報・意見交換会」のお知らせ

■日時：6月29日（日）

- ・自治会・町内会に関すること
11:00～12:00
- ・関連団体の方に関すること
13:00～14:00

■会場：友和市民センター

■内容：
①協議会の活動案内
②①に関する意見交換
③他

どなたでも参加できます。

編集後記

手探りで始まったこの協議会です。

皆さんのお力を借りることばかりだと思います。協議会の事業計画に「各組織間に上下関係はない」と記されています。共に気持ちの良い汗をかかせていただければと思います。（名越）